

三井化学株式会社 岩国大竹工場 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三井化学株式会社 岩国大竹工場

(2) 事業所の所在地

山口県玖珂郡和木町和木六丁目1番2号

(3) 業種

1731 石油化学系基礎製品製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成28年度を基準年度とし、平成29年度から平成31年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

環境安全衛生方針

私たちは、三井化学グループのレスポンシブル・ケア基本方針に則って行動し、地域と社会の期待と信頼に応え、社会の持続可能な発展に貢献する。

1. 「安全はすべてに優先する」を私たち全員が心に刻み、化学工場のプロとして、環境汚染の予防、保安防災の推進、労働災害の防止及び健康の保持増進に努める。
2. 環境保全、保安防災、労働安全衛生に係る法令及び協定等を遵守する。
3. 環境側面、保安防災危険源及び労働安全衛生リスクを的確に捉え、低減のための具体的な目標を定め、確実に実行する。また、定期的な見直しにより、マネジメントシステムを継続的に改善し、パフォーマンスの向上を図る。
4. 環境保全、保安防災及び労働安全衛生に関する社外活動・広報活動等を実施し、地域社会との共生を図る。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成28年度	平成28年度
二酸化炭素	445,940	445,940

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成28年度	平成28年度
二酸化炭素	8,441	8,441

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成28年度	平成28年度
メタン	480	480
一酸化二窒素	219	219
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)	167	167

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成28年度)		削減目標		目標年度 (平成31年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量		-			0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

エチレン換算生産量(t)

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成28年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成31年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	445,940	166,300	2.68	3.0	460,484	177,000	2.60
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	8,441	166,300	0.05	0.0	8,441	177,000	0.05
メタン	480	166,300	0.003	0.0	480	177,000	0.003
一酸化二窒素	219	166,300	0.00	0.0	219	177,000	0.00
その他 温室効果ガス	167	166,300	0.00	0.0	167	177,000	0.00
総排出量	455,247	166,300	2.74	3.3	469,791	177,000	2.65
エネルギー消費原単位 (原油換算k l)	-	-	0.9985	3.0	-	-	0.9686
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位を中長期的にみて1%/年以上低減						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料削減	平成29年度 1737kl 平成30年度 236kl *原油換算	・余剰副生ガス燃焼率UP
2	蒸気、電気削減	平成29年度 178kl 平成30年度 906kl 平成31年度 149kl *原油換算	・製造プロセス最適化 ・インバーター導入 ・電動機の高効率機器更新 ・発電効率UP
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

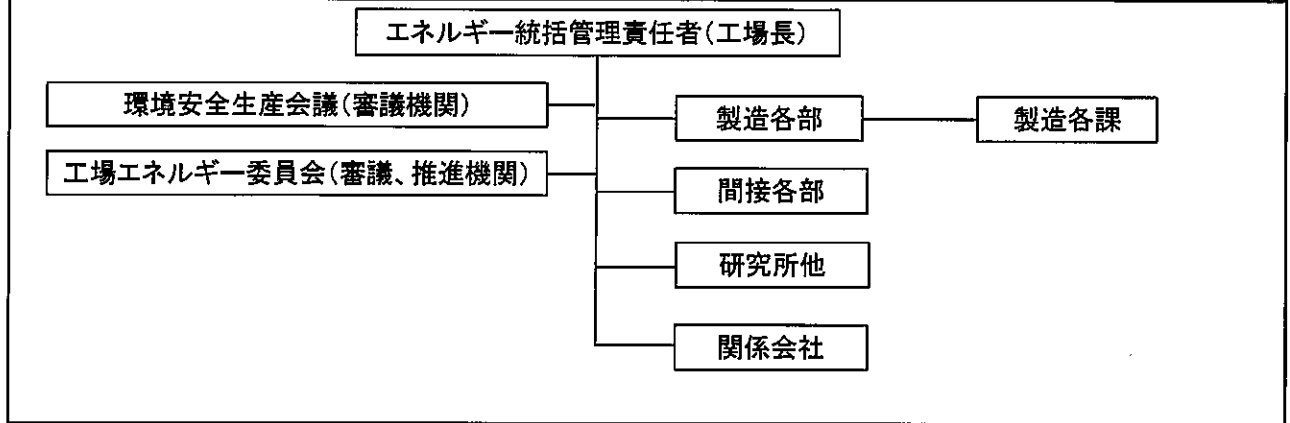
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	事務所電気使用量削減		・冷暖房温度の適正管理 ・昼休憩時の消灯の徹底
2	廃棄物排出量削減	廃棄物埋立率0.15%以下	・3Rによる廃棄物削減 ・分別収集の徹底
3	その他		・工場周辺地域清掃活動の実施

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

工場企画Gを中心に、省エネによる温室効果ガス削減計画の策定、およびエネルギー原単位等を集計。毎年度、取り組み状況の把握・点検及び問題点検討を行い、環境安全生産会議、工場エネルギー委員会にて定期的に評価、見直し等を行いし継続的な向上を図る。

### (3) 計画書等の公表

回覧場所  
三井化学株式会社 岩国工場 安全・環境部 安全・環境Gグループ